



令和元年8月九州豪雨に伴う 災害ボランティア・NPO活動サポート募金
(災害ボラサポ・8月九州豪雨)
追加助成決定にあたって

はじめに

令和元年8月28日から続いた「令和元年8月の前線に伴う大雨災害」では、九州地方や岡山県など広範囲に渡って、河川の氾濫や洪水等の被害が発生しました。

この豪雨災害により亡くなられた方々に心よりお悔み申し上げます。また被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

被害の大きかった佐賀県5市町、福岡県筑後市、岡山県新見市においてボランティアグループやNPO等による支援活動が行われた状況を受けて、赤い羽根の中央共同募金会では、被災地で活動するボランティアグループ、NPO等を資金面で支援するため、「8月九州豪雨に伴う 災害ボランティア・NPO活動サポート募金（災害ボラサポ・8月九州豪雨）」を実施しました。

その第1回助成として上限50万円の活動費用助成を公募し、11月に合計31件・1,299万円の助成を決定しました。この第1回助成をもって「災害ボラサポ・8月九州豪雨」に寄せられた寄付金全額を活用しましたが、被災地でさらに支援が必要とされている状況を鑑み、災害を特定しない寄付金等を活用して、今回の追加助成を行うことといたしました。

追加助成は、第1回助成を決定した団体のうち引き続き支援活動を行う団体に対して、1団体あたり上限50万円の助成を行うこととし、2019年12月13日から2020年1月14日まで応募を受け付け、審査の結果、7件、合計182万円の助成を決定いたしました。

被災地では、被災者の生活再建に関する取り組みが必要とされている状況ですが、本助成を活用し、被災地の問題解決の一助となることを期待しております。

1. 追加助成応募状況と助成決定状況

12月13日から開始した追加助成では、11件、合計437万円の応募がありました。また、活動内容は第1回助成から引き続き行っている活動や、フェーズの変化にあわせたサロン活動等でした。

活動団体は8月九州豪雨以降も台風15号、台風19号といった災害が発生したため、被災地である九州地方を拠点とする団体や支援活動の拠点となっているおもやいボランティアセンターの運営にかかわる団体を中心でした。

2. 選考にあたっての考え方

追加助成の選考では、応募要項に記載したとおり、「審査にあたって重視する点」として、以下の7項目に重点を置き審査を行いました。

- ①目標や問題意識が明確になっているか

- ②プロジェクトを実施するための手法が明確で適切か
- ③さまざまな人たちの参加と協力が得られているか
- ④災害ボランティアセンター等現地の団体や現地に拠点を置く団体と連携や協働により活動を行っているか
- ⑤被災地で暮らす人たちの潜在的な力を引き出し、高めていこうとしているか
- ⑥被災地での新しい社会的事業・活動へと発展する可能性があるか
- ⑦「この先」を意識した活動であるか

なお、活動団体や現地の状況を確認するため、必要に応じて聞き取り調査を別途させていただきます。

3. 今後の予定について

8月九州豪雨の被災地では、復興にあたり、まだまだ多くの支援を必要としております。しかし、「災害ボラサポ・8月九州豪雨」に寄せられた寄付金をすべて活用したこともあり、「災害ボラサポ・8月九州豪雨」による助成は今回で終了します。

最後となりましたが、発災直後より全国の個人・企業の皆さまより多くのご寄付をいただきました。深く感謝しますとともに、今回、助成が決定した団体の皆さまにおかれては、寄付者の方がたから託された貴重な財源による助成であることを理解いただき、有意義な活動を展開されるよう望みます。

災害ボランティア・NPO活動サポート募金 運営・審査委員会
委員長 山崎 美貴子